揮

六年

画数 12

筆順 扌 揮

オン キ

クン

成り立ち

軍隊という意味の〝軍（4年497）〟と、〝扌〟とを組み合わせて作った字です。

「手を〝ふるって〟軍隊を〝さしず〟する」ことを表した字です。

〝手をふるう〟意味や、〝奮い起こす〟意味に使われます。例発揮。

また、〝さしずする〟意味にも使われます。例指揮。

使い方

▽勝敗は時の運によります。自分の力を十分に発揮することに心がけて、勝ち負けは考えないことにしたいと思います。

▽テレビでオーケストラを時々見ますが、指揮者の顔にはたいてい汗が流れています。指揮するって大変な事だなあといつも思います。

熟語例

▽発揮（発は〝出す〟こと。自分のもつ力を出してがんばること。この〝揮〟は、〝奮い起こす〟〝がんばる〟の意味です。）

▽揮発（この〝揮〟は〝勢いが良い〟意味。〝発〟は〝蒸発〟する意味。通常の温度で、勢いよく蒸発することを言います。ガソリン、ベンジン、シンナーなどがそれで、〝揮発油〟と言います。「揮発する石油」という意味です。）

▽指揮（指図。大勢の人をまとめ、指図して、それぞれに適切な行動をさせることを言います。）

▽指揮者（指揮する人のこと。軍隊やオーケストラ、合唱の指揮をする人のこと。）

貴

六年

画数 12

筆順 口 中 虫 貴

オン キ

クン たっと＝い＝ぶ とうと＝い＝ぶ

成り立ち

〝中〟と〝一〟と、お金の意味の〝貝〟とを組み合わせて作った字です。

「家の中がお金で一ぱい」という「身分の高い人」のことを表した字です。「たっとい人」のことを表した字ですが、「たっとい」という意味に使われます。例高貴、富貴、貴人、貴族。

「価値の高い物」を表すのにも使われます。例貴重、貴金属。

また、〝貴殿〟〝貴女〟など、手紙の中で、相手に敬意を表すことばに使われます。

〔原字は、〝賈〟で、物を蓄える意味の〝臾〟と〝貝〟との会意字である。〝臾〟が変化して〝虫〟になった。〕

使い方

▽人が大勢集まっている所では、財布などの貴重品に注意しなければなりません。ぼくも、一度、財布をすられたことがあります。悪い人は、どこにも居るものです。みなさんも注意して下さい。

▽金や銀などの貴金属製品は、昔から、尊重されて来ました。美しく、希少価値があるからです。昔の貴婦人や、貴族が、金の装身具をつけている肖像などが、よく見られますね。

熟語例

▽高貴（身分が高くて、たっといこと。）

▽富貴（金持ちで、身分が高いこと。「だれも富貴を願わない人はいない」などというふうに、つかいます。）

▽貴人（身分の高い人）

▽貴婦人（身分の高い女の人）

▽貴族（身分が高く、社会的な特権を持つ家柄の人）

▽貴重品（非常に大切な、価値の高い物）

▽貴金属（価値の高い金属。金・銀・プラチナなど）

▽貴殿（相手に敬意を表して呼ぶ言葉。手紙の中などで、用いられます。）